

## 令和 4 年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生活動支援事業活動報告書

団体等名	つむぐプロジェクト	
代表学生	所属大学名・学部・学年	信州大学工学部 4 年生
	ふりがな 氏名	樋口 広大
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	信州大学キャリア教育・サポートセンター 講師 勝亦達夫

活動名	つむぐプロジェクト
実施時期	2022 年 4 月 15 日～2023 年 3 月 31 日
実施場所	長野県北安曇郡池田町
活動内容	<p>① 空き家の危機感を共有するワークショップ 「空き家」では池田つむぐプロジェクト時に作成した空き家についてのパンフレットを元に、空き家の課題をより多くの町民の方々に知っていただけるように活動しています。本年はつむぐプロジェクトで 3～5 回 1 回ほど池田町で空き家の啓もうイベントを行い、行政や民間への相談件数を増やすことを目指しております。 また、空き家の課題をより多くの町民の方々に知っていただけるようにイベント以外に以前作成したパンフレットを改訂し、より詳細な情報と近年の法改正等による変化について載せていきます。</p> <p>② 小中学生に対する地域資源を活かした学びの提供 「子育て」では池田町のふるさとチャレンジ塾の企画の立案を行い、地域資源を活かした学びを考えています。</p> <p>③ 観光視点での他地域展開 さらに今年は、小さな町ながらも独自のまちづくりを続ける小布施町で、建築の活用や街並づくりを学ぶプロジェクトとして、観光プランの企画を実施します。ツアーを組み、町づくりのポイントを講師の方と周るような学修イベントで、そのノウハウを池田町などにも還元したいと考えています。</p>
活動の成果と今後の課題	<p>【活動の成果】</p> <p>① 空き家の課題の啓蒙パンフレットを発行し、町内各所に配布させていただいた。効果や評判についてはまだ測定できていないが、役場の空き家担当課の方々や不動産事業者の方々からは一定支持を頂けた。</p> <p>② 社協・行政協働開催の小中学生向けプログラム「ふるさとチャレンジ塾」全 12 回にボランティアスタッフとして参加。うち 1 回の企画・実行も担当し、町内小学生の図書館利用率の課題に着目した企画を実施した。定量的な効果測定はできていないが、参加者の子供たち(約 20 名)や担当者の方々からは好評を頂けた。</p> <p>③ 長野大学、信州大学で広報を行い、5 月に 7 名の参加者に対して、建築の活用や街並づくりを学ぶプロジェクトとして、観光プランの実施を行った。</p> <p>つむぐプロジェクトは 5 年間にわたり活動を行ってきたが、大学生への学びの提供に一定成果を出せたことや運営メンバーの卒業などもあり、今年で活動を終えることとなった。団体の課題としてずっと取り組んできたことは大学生がなにを地域で行うと大学生の学びになりつつ、地域の活性化につながるかの落としどころを作ることであったが、今年度はふるさとチャレンジ塾内の 1 つの企画の実施とパンフレットの作成を大きくやることとして作り、大学生ができるかつ学びになるものでありながら、地域の活性化につながる事ができたと感じる。</p>

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4判4枚以内にまとめてください。活動内容だけでなく、活動団体のPRを行うことができる動画を添付することも可能です。

※提出された活動報告書一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州のHPへの掲載を予定しています。他人が写った写真等を許可なく使用しないなど、著作権や肖像権に配慮してください。